



# 協会だより

Japan Tourism Facilities Association

No.62



## 7月

発行 / 社団法人国際観光施設協会  
 総務委員会  
 〒102-0072 東京都千代田区飯田橋  
 2-8-5 多幸ビル九段2階  
 TEL03-3263-4844  
 FAX03-3263-4845  
 E-mail : kankou01@syd.odn.ne.jp  
 U R L : <http://www.kankou-fa.jp>  
 .....  
 2007年7月3日

### 技術担当 副会長就任にあたって、思うこと 副会長 中山 庚一郎

大木さんの後を継いで、6/14 総会において、技術担当の副会長に指名されました。この変革の時代にその重責を負うことに、覚悟を新たにしております。

いま、私たちの生活も、それをとりまく環境、自然や気候、さらに法律や思想までも、地球規模で大きく変革しようとしています。

20 世紀の人間至上、科学至上の時代から、「2050 年には、CO<sub>2</sub>を50%削減しよう」という国際キャンペーンのように、欲望を抑えて、人々も社会もサステナブルな考えを基本にする時代になります。利便性も快適性も、すでに社会ではその対価は下がり替わって自然の中で楽しむ露天風呂やオープンデッキ、開放廊下、車のいない道、歩いて楽しむ街へと、人々が観光に求めるものも変化しています。

観光施設は人々の求めによって変わり、技術はそ

れに従って変わっていくべきものです。観光ということもひとつひとつの施設の問題をこえて、観光交流はもちろん、観光資源も景観も、地域に住む人々すべてに関連する問題になってきています。

地域を回ると、ほとんどの地域に共通する問題は高齢化と過疎化です。旅館や商店も農家も、なかでも行政は今後の10年、20年に大変な不安をもっています。ほとんどの地域で、まずは観光的な手段でなんとか回復のきっかけをつくりたいと、さまざまな事例を求め、視察を行い、なんらかの動きをしなければならぬと懸命です。

観光に関わる公益法人として、私たちの観光交流空間の創造の運動が、これらの村おこし、街づくり、新しい観光地づくり、そして景観や環境、エコなどの問題に、どのようにしたら、役立っていけるかと考えています。

### 平成 19 年度の通常総会と関連行事 報告

去る6月14日午後、九段会館にて平成19年度通常総会が開かれました。昭和9年に軍人会館として建設され、戦前・戦中・戦後を通じ歴史の風雪を感じさせる会場でした。

総会議案は滞りなく承認され、任期満了に伴う役員の変更では、村尾会長の再任（新しい役員は右欄の通り）が決まり、退任された大木副会長に替わって中山常務理事が副会長に就任し、大木副会長は相談役になりました。

総会後の矢野 弾氏の講演「日本経済とこれから日本が歩む道ー観光」には一同感銘を受けました。

総会の次第はつぎの通りです。

#### 議案

- ・平成18年度事業報告 大木副会長
  - ・平成18年度収支決算報告 平田副会長
  - ・平成19年度事業計画（案）涌井副会長
  - ・平成19年度収支計画（案）平田副会長
  - ・役員選任
- 上記議案は提案通り、承認されました。

#### 新入会員紹介17社（入会月日順）

- 関西電力(株)・(株)フジタカ・不二窯業(株)・中外鋳業(株)・(株)アセツツR&D・沖電気工業(株)・大河通商(株)・日本電気硝子(株)・(株)建設技術研究所・(株)日比谷アメニス・宮下任弘・西武造園(株)・内山緑地建設(株)・斎藤長光・シコジャパンインク・ホシザキ電機(株)・永石秀昭

#### 永年功労者表彰8名（敬称略）

- |       |       |
|-------|-------|
| 金光 義和 | 鬼澤 邦彦 |
| 塚田 三郎 | 目黒 修二 |
| 森 一郎  | 横山 豊  |
| 兼平 慎  | 木下 利道 |

当日は国土交通省を始め観光関係団体より多くの方々のご臨席を賜り下記の方にご祝辞をいただきました。

- 総会：国交省総合政策局観光事業課長 花角英世氏  
 情報交歓会：国土交通省総合観光政策審議官 柴田耕介氏  
 官房審議官（観光）大西珠枝氏  
 日本観光協会 会長 中村 徹氏  
 国際観光振興機構 理事長 間宮忠敏氏

#### 退任役員は5名（敬称略）

- |       |       |       |
|-------|-------|-------|
| 大木 健次 | 庄司 四郎 | 中川 誠一 |
| 中山 利通 | 藏田 寛  |       |

## 役員改選 報告

6月14日の平成19年通常総会で役員25名・監事2名が改選され、新しい役員による理事会で下記の通り会長・副会長・常務理事が選任されました。

### 平成19年度 役員名簿 (敬称略)

#### 会長

村尾 成文 (株) 日本設計

#### 副会長

平田 純一 みはし (株)

涌井 史郎 桐蔭横浜大学

中山庚一郎 (株) 石井建築事務所

#### 常務理事

山方 茂利 (株) フジマック

花又 昇 (株) 大塚家具

森 一朗 (株) デザインの森

鈴木 裕 (株) 観光企画設計社

内川 正人 (社) 国際観光施設協会

#### 理事

吉田 正嗣 (社) 日本観光協会

橋本 雅之 (社) 日本ホテル協会

長嶋 秀孝 (社) 国際観光旅館連盟

中村 義宗 (社) 日本観光旅館連盟

太田 雅晴 (社) 全日本シティホテル連盟

兼平 慎 (株) 乃村工藝社

桂 真人 (株) INAX

大村鐵太郎 (株) 安井建築設計事務所

青木 健三 (株) ピーエーシー

金光 義和 (株) アルテジャパン

立石 博巳 (株) ヒガノ

佐藤 陸雄 (株) リーコ

佐藤 英嗣 (株) 久米設計 (新任)

南 三一郎 (株) 山下設計 (新任)

北 泰幸 (株) 竹中工務店 (新任)

関口 仁也 松下電工 (株) (新任)

#### 監事

伊藤 肇 元(株)三菱地所設計 (新任)

八木 忠彦 (株) 大気社 (新任)

### 施設見学会「チサングランド 赤坂」 報告

5月21日午後2時から4時、ビジネスホテルの見学会が会員ゲストを含め57名参加で行われました。

ホテル総支配人 Vicky Wang さんからホテルの利用状況の報告があり、特徴として女性人気国内第3位(利用客の30%)、また利用客の30%が欧州・豪州系の外国人とのことでした。

設計監理の「デザインの森」の森会員から設計内容、工事費等の説明、インテリアデザイン担当の「K.I.D. アソシエイツ」の北原会員からデザインの特徴等を説明、各タイプの客室を見学しました。

見学後交流会が地下1階の「モッツアレラサラダバー」で有機認定ワインの飲み放題とモッツアレラチーズと無農薬野菜サラダで、オーガニック料理をお楽しみいただき、盛況のうちに交流会が行われました。

## 新入会員紹介 (入会順)

### 【個人】 齋藤 長光

〒338-0001 さいたま市中央区上落合 6-9-40

TEL048-857-3547 FAX048-857-3537

### 【メーカー】 シコ・ジャパン・インク

(代表者)日本支社長 (担当者)営業統括部 マネージャー

原 康人 岩井 秀行

〒102-0083 東京都千代田区麹町 4-2-6 泉商事ビル4F

TEL03-3288-0145 FAX03-3288-0146

業務内容: 業務用特殊家具製造販売

### 【メーカー】 ホシザキ電機㈱

(代表者)代表取締役 (担当者)東京営業本部 部長

坂本 精志 釣川 光彦

〒108-0074 東京都港区高輪 2-20-32

TEL03-5791-8021 FAX03-5791-8097

業務内容: 製氷機、冷凍機各種自動販売機、その他の電気機械類販売

### 【個人】 永石 秀昭

〒114-0014 東京都北区田端 3-3-3

TEL03-3823-0218 FAX03-3823-0218

### 交流部会第90回「ゴルフ会」報告

5月11日に春のゴルフ会が、菅会会員(市原市観光協会)のご協力で「CPGゴルフクラブ」にて開催されました。当日は天気には恵まれましたが、強風にあおられなかなか大変だったようです。参加者は37名で、大盛況のうちに終えることができました。

秋の大会は11月中旬に前回と同じ会場で開催の予定です。ぜひ参加されますようお願いします。

優勝	宮本隆司	日本電設	72.2(ネット)
準優勝、シニア優勝	鬼澤邦彦	ケイオフィス	73.2
3位、BG	高田謙二	大成建設	73.6

### カメラ倶楽部撮影会 報告

5月20日(日)快晴の中12名の方々が鎌倉駅に集合、撮影会「湘南江ノ電の旅」を開催しました。江ノ電を乗り継ぎながらまずは旧前田侯爵邸跡の鎌倉文学館を訪ね、鎌倉にゆかりのある文士達の文学遺産を見学、続いて高德院の鎌倉大仏、長谷寺の長谷観音を巡り、江ノ島へ向いました。江ノ島は何十年ぶりという参加者が多く、すっかり観光地化された新しい江ノ島に興味のつきない撮影会となりました。食事は江戸時代から続く海産物問屋が直営する磯料理店「丸代仙水」でフルコースを堪能、大満足の締めくくりとなりました。

### ♥編集後記♥

今年は理事及び監事の改選の年にあたり、新しい体制が決まりましたが、長年協会のためにご尽力いただいた5人の役員の方々が退任され、新たな方々と交代されました。退任された5人の方々は、在任中は数々のご苦勞を重ねながら重要な役務を担われ、今日の協会の隆盛へと導いてくださいました。これまでのご尽力に感謝しつつこれからは皆様とご一緒にこのご意志を継いで頑張ってまいりたいと思っております。

Y.K